

(2017年11月21日)

～ 人を豊かに、地球を美しく ～

貴金属・環境・食品分野のソリューション提供企業

松田産業株式会社

第69期

2018年3月期第2四半期 決算説明会



— お問い合わせ先 —

取締役IR部長 木下敦視

TEL: (03)5381-0728

FAX: (03)3349-0867

<http://www.matsuda-sangyo.co.jp/>

# 決算概要と事業展開について

- 2018.3月期第2四半期(累計)の連結売上高は前年同期比+19.3%の増収、営業利益は同+77.0%の増益。

- **貴金属関連事業**

主力顧客であるエレクトロニクス業界の生産状況が好調に推移しました。

**【前期比】 売上: +19.4%増収、営業利益: +74.6%増益**

- **食品関連事業**

国内個人消費に力強さを欠くものの輸出好調により食品業界の生産状況はおおむね堅調に推移しました。

**【前期比】 売上: +19.2%増収、営業利益: +81.2%増益**

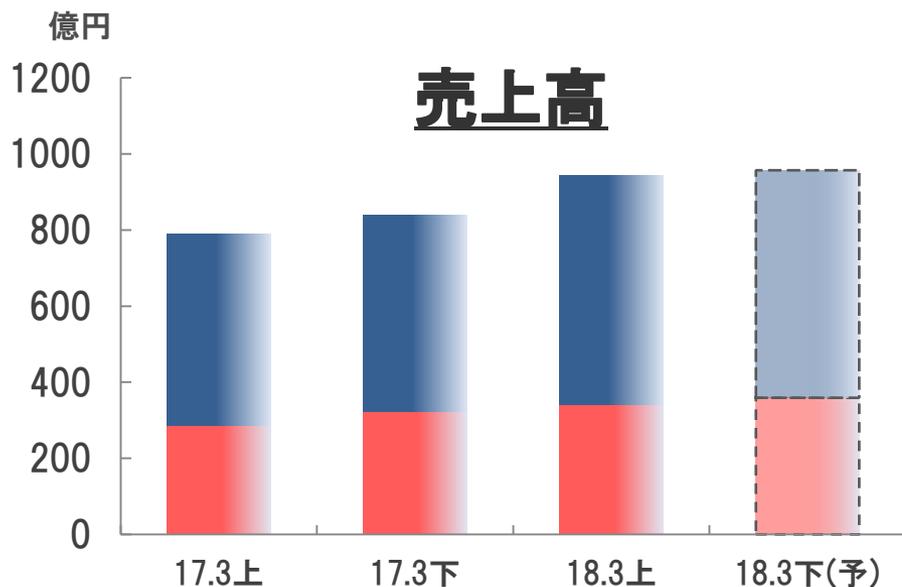
※比較数値は、全て前年同期比

# 2018年3月期(連結) 第2四半期決算概要

単位:百万円

	17.3上期累計	18.3上期累計	増減	%
貴金属	50,404	60,180	+9,776	+19.4%
食品	28,607	34,101	+5,494	+19.2%
<b>売上高</b>	<b>79,012</b>	<b>94,282</b>	<b>+15,270</b>	<b>+19.3%</b>
貴金属	796	1,390	+594	+74.6%
食品	448	813	+365	+81.2%
<b>営業利益</b>	<b>1,245</b>	<b>2,203</b>	<b>+958</b>	<b>+77.0%</b>
営業利益率	1.6%	2.3%	—	
<b>経常利益</b>	<b>1,427</b>	<b>2,422</b>	<b>+995</b>	<b>+69.7%</b>
経常利益率	1.8%	2.6%	—	
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>969</b>	<b>1,641</b>	<b>+672</b>	<b>+69.3%</b>
当期純利益率	1.2%	1.7%	—	
<b>1株当たり当期純利益(円)</b>	<b>36.80</b>	<b>62.34</b>	<b>+26</b>	<b>+69.4%</b>
<b>1株当たり純資産(円)</b>	<b>2,027.45</b>	<b>2,073.35</b>	<b>+46</b>	<b>+2.3%</b>

※セグメント別売上は外部売上高を使用しております



## 18.3期通期予想 (対 17.3期比)

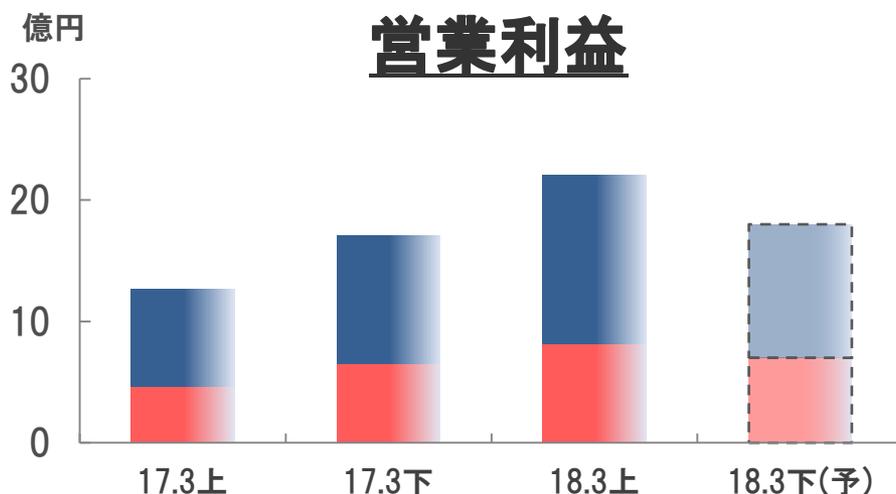
**1,900億円 (+269億円 +16.5%)**

■ **貴金属関連事業**

1,200億円 (+177億円 +17.4%)

■ **食品関連事業**

700億円 (+ 91億円 +15.1%)



**40億円 (10億円 +35.1%)**

■ **貴金属関連事業**

25億円 (+6.4億円 +34.7%)

■ **食品関連事業**

15億円 (+3.9億円 +35.9%)

企業理念

限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献する

当社グループが目指す姿



中期経営計画の目標(2019年3月期) 連結	
売上高	2,000億円
営業利益	40億円
営業利益率	2.0%

## 経営戦略

### 貴金属関連事業

<拡大・成長牽引部門>

既存事業の  
収益極大化

新たな収益源の  
構築

最適な管理体制の構築

### 食品関連事業

<安定的成長部門>

東アジア地区での  
積極拡大

人材育成・確保

## 投資方針

貴金属関連事業と食品関連事業の両分野において、製品・技術開発、国内外の拠点整備や機能拡充等、事業拡大に必要な成長投資を積極的に行います。

既存事業の収益極大化: 貴金属リサイクル及び環境保全に関するノウハウ・インフラの最大活用  
新たな収益源の構築: 高機能電子材料・洗浄・メンテナンス技術の開発強化等

 松田産業株式会社

分析 / 前処理 / 製錬 / 精製



販売



無害化中間処理



回収



加工/販売



回収

エレクトロニクス業界



貴金属スクラップ



廃酸・廃アルカリなど

東アジア地区での積極拡大:7カ国に海外拠点を設立し、回収販売ネットワークを強化



## 海外展開の軌跡

- 1992 シンガポール支店開設
- 2000 タイ現地法人設立
- 2003 タイ工場稼働
- 2004 フィリピン現地法人設立
- 2005 シンガポール現地法人化
- 2007 中国現地法人設立
- 2009 マレーシア現地法人設立
- 2011 台湾支店開設
- 2012 マレーシア工場稼働
- 2013 タイ・チョンブリ営業所開設
- 2014 ベトナム現地法人設立
- 2016 ベトナム工場稼働

## 既存事業の収益極大化

### 取扱商品

#### 水産品



#### 畜産品



#### 農産品



商品仕入

品質管理



技術指導



MATSUDA



品質保証



食材流通



商品販売



品質保証



食材提案  
物流サービス

### お客様

練り製品  
メーカー

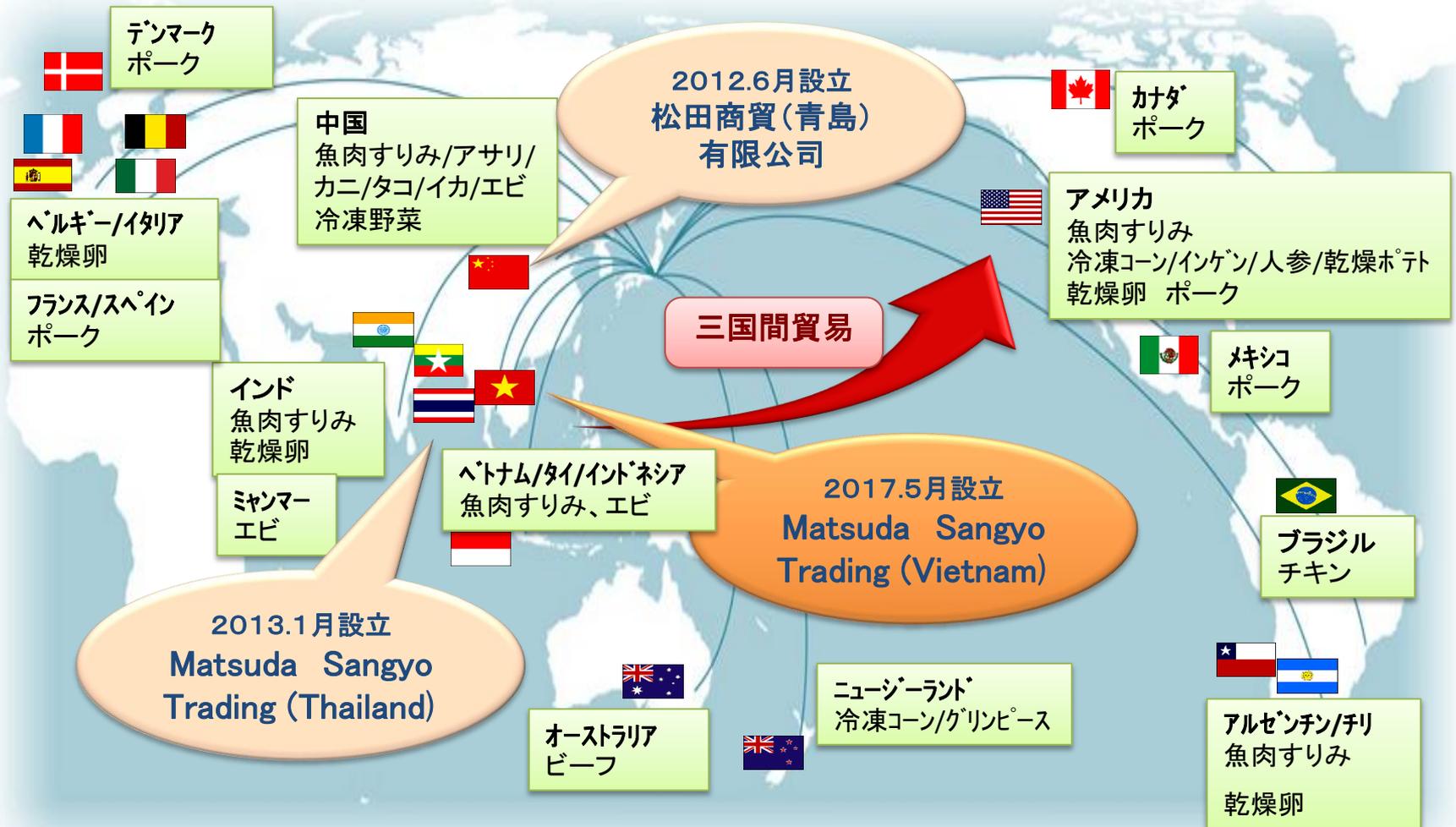
冷凍食品  
メーカー

ハム・  
ソーセージ  
メーカー

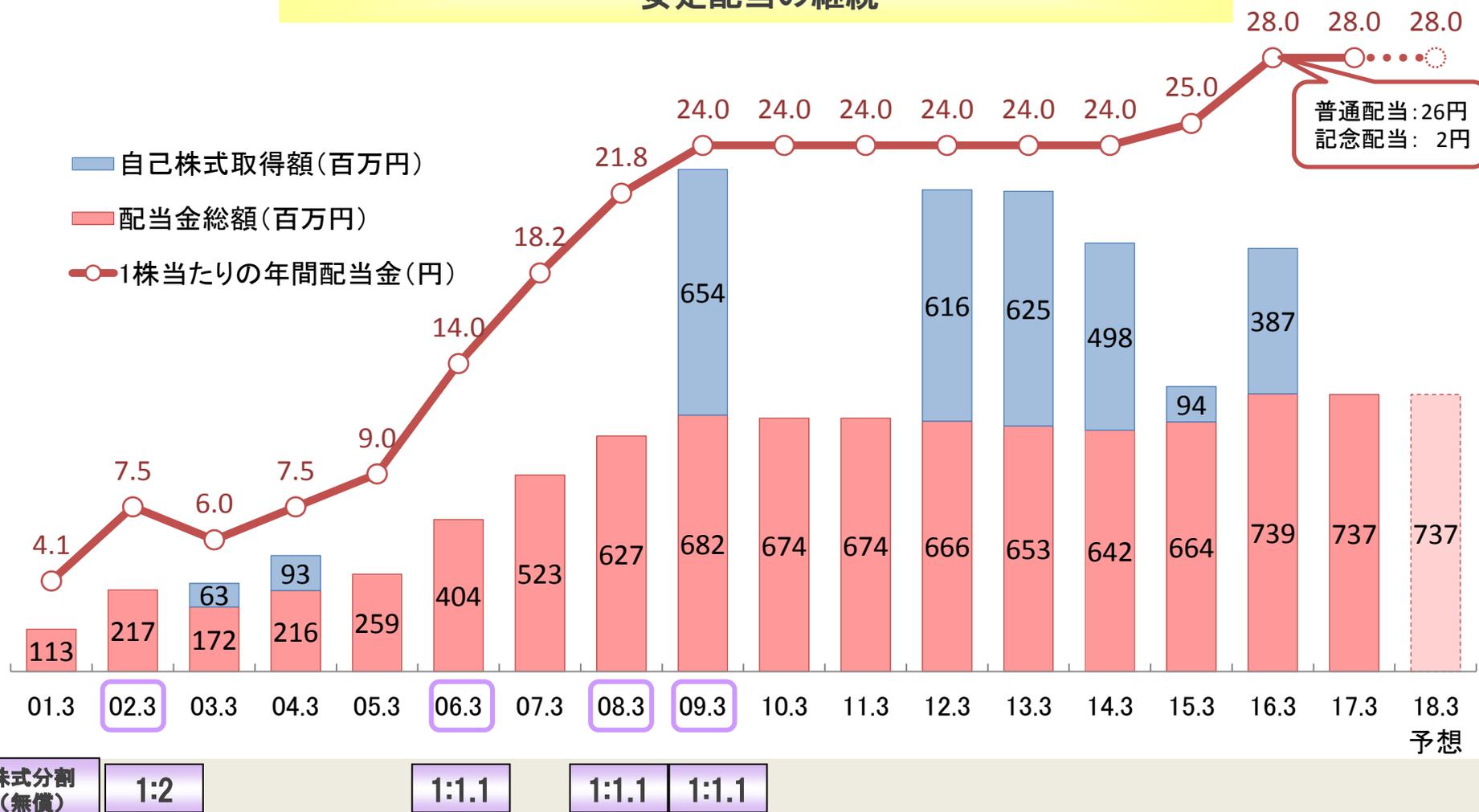
製菓・  
製パン  
メーカー

外食・中食  
業界

新たな収益源の構築:グローバルな調達ネットワークの拡大による商品ラインナップの拡充  
東アジア地区での積極拡大:中国・タイ・ベトナム現地法人を活用した海外販売市場の開拓



内部留保とのバランスを考慮した株主への利益還元  
安定配当の継続

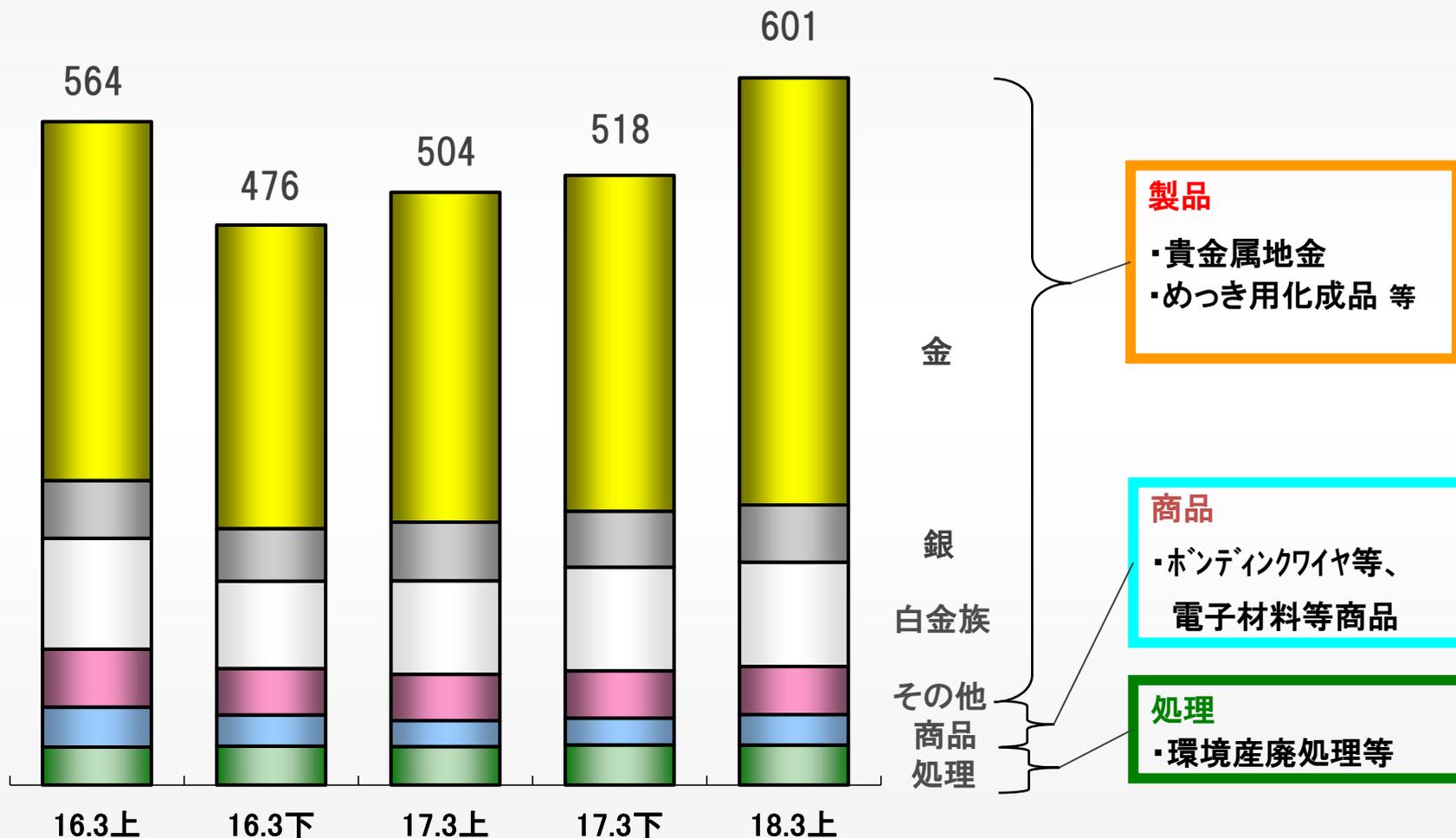


(注1)1株当たりの年間配当金は、株式分割の影響を補正しています。

# 2018年3月期第2四半期決算と 通期見通しについて

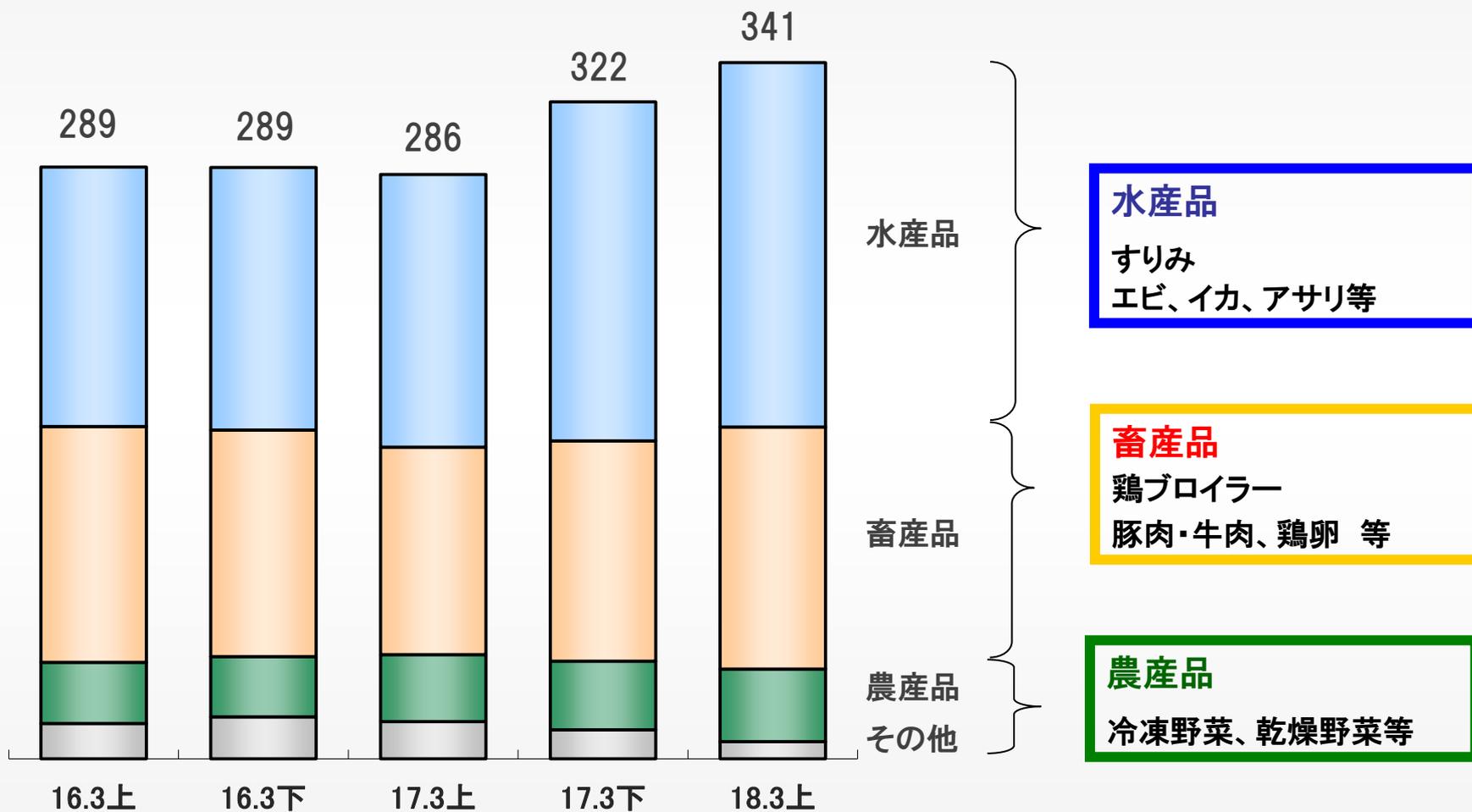
# 品目別売上高の半期別推移 <貴金属関連事業>

単位：億円



# 品目別売上高の半期別推移 <食品関連事業>

単位:億円



## 連結業績 予想

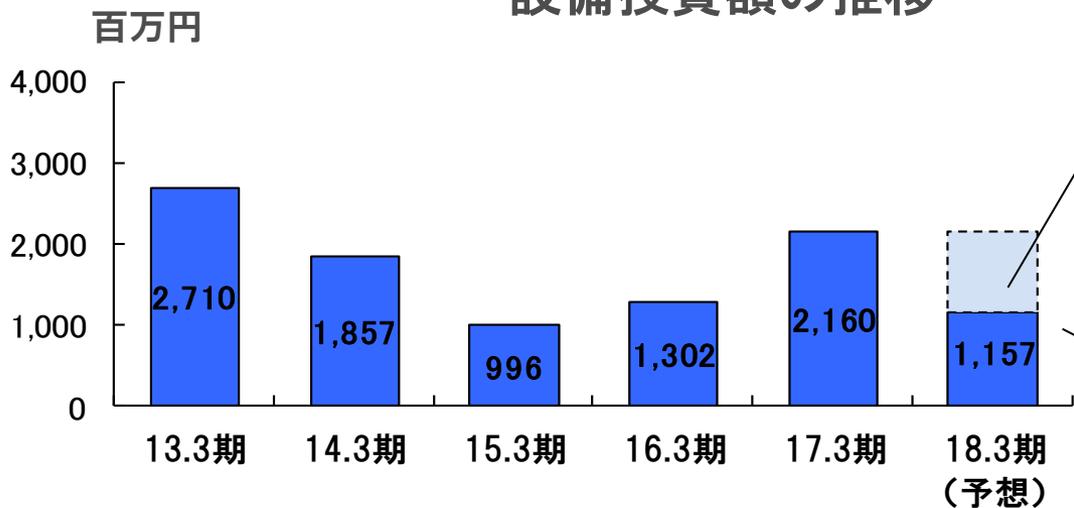
単位:百万円

		17.3期 実績			18.3期			増減	%	(参考) 18.3期 当初予想
		上期	下期	通期	上期実績	下期見込	通期予想			
売上高	貴金属関連	50,404	51,815	102,219	60,180	59,820	120,000	17,781	17.4%	105,000
	食品関連	28,607	32,227	60,834	34,101	35,899	70,000	9,166	15.1%	70,000
	合計	79,012	84,042	163,054	94,282	95,718	190,000	26,946	16.5%	175,000
営業利益	貴金属関連	796	1,060	1,856	1,390	1,110	2,500	644	34.7%	2,000
	食品関連	448	656	1,104	813	687	1,500	396	35.9%	1,200
	合計	1,245	1,715	2,960	2,203	1,797	4,000	1,040	35.1%	3,200
経常利益		1,427	2,032	3,459	2,422	1,978	4,400	941	27.2%	3,500
親会社株主に帰属する 当期純利益(円)		969	1,485	2,454	1,641	1,339	2,980	526	21.4%	2,490
1株当たり 当期純利益(円)		36.80	56.41	93.21	62.34	50.82	113.16	19.95	21.4%	94.55
1株当たり配当金(円)		14	14	28	14	14	28	-	-	28

※増減は17.3通期実績 対 18.3通期予想(2017年11月9日修正の連結業績予想)です

※18.3期当初予想は2017年5月12日発表の連結業績予想です

## 設備投資額の推移



### 主な設備投資予定

18.3期 下期

製錬環境処理設備・拠点拡充等 850

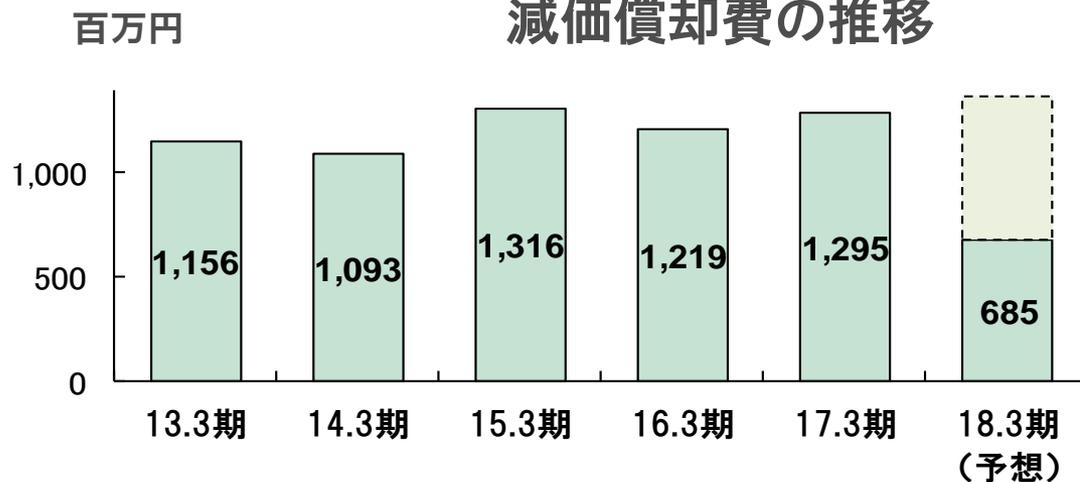
### 主な設備投資実績

18.3期 上期

関工場 661

製錬環境処理設備・拠点拡充等 496

## 減価償却費の推移



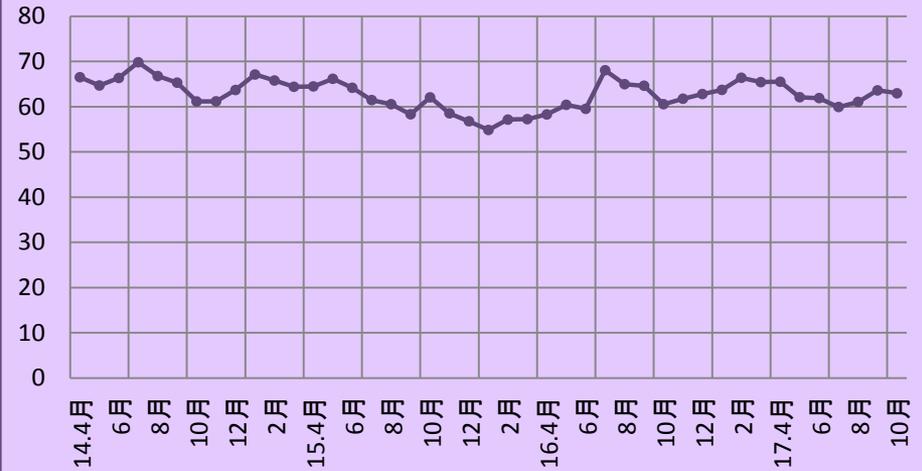
## ご参考

# (ご参考)貴金属相場の推移

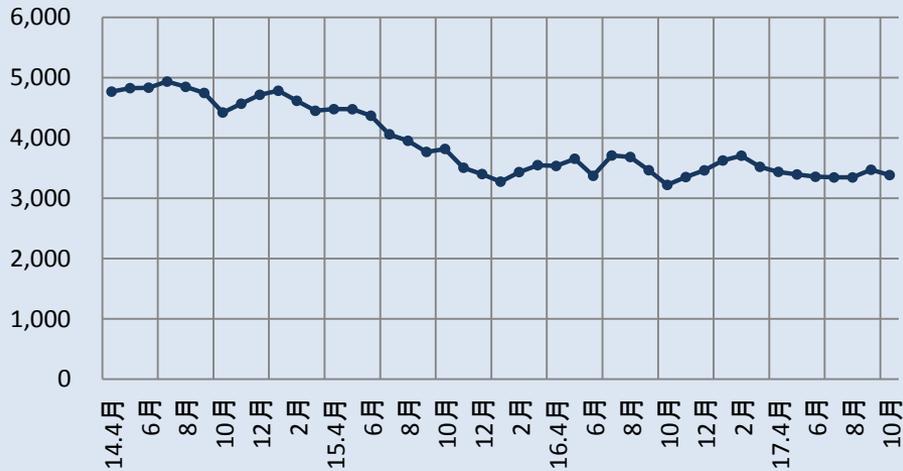
—●— 金(山元建値 円/g)



—●— 銀(山元建値 円/g)



—●— 白金(N・Y\$建円換算 円/g)



—●— パラジウム(N・Y\$建円換算 円/g)



# (ご参考)貴金属関連事業の拠点展開の軌跡

